

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成26年度第12回定例会会議記録
開催日時	平成27年3月25日（水曜日）午後6時30分から7時45分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、糸山時子、中曽根聡、上田幸夫、大野雅生、武司一郎、西原みどり 職員：田中館長、小笠原分館長、鴨志田分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長、水野主任、保谷専門員、山本専門員、高梨専門員
欠席者	小林克彦、新藤浩伸、神田園子（オブザーバー）
議題	議題1 平成27年度第11定例会の記録について 議題2 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連関係報告（委員会関係報告・都公連総会関係報告） （4）田無公民館関係の報告 （5）事業評価の報告 （6）利用者懇談会報告 議題3 審議事項 （1）平成27年度事業方針・事業計画等について （2）事業計画書・事業報告書について 議題4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成27年度第12回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成26年度第11回定例会会議録 資料3 利用者懇談会報告（平成26年度3月） 資料4 平成26年度 公民館主催事業報告書 資料5 平成27年度 公民館主催事業計画書 資料6 施政方針 資料7 公共施設等総合管理計画策定に向けた基本的な考え方に関する提言書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	

議題1 平成27年度第11回定例会の記録について

・委員からの訂正なし

・職員からの補足説明（ひばり）

3ページ「展示には作者のプロフィールを添えてほしい」の次に「ひばりが丘公民館でもロビーを活用した事業を考えてほしい」という委員の意見と「来年度事業計画案に記載していないが、ロビーコンサートを開催できる可能性がある」という職員側の回答を追加。

2ページ「関ブロについて」の次の「今年度」を「平成27年度」に訂正。

議題2 報告事項

(1) 行政報告

○事務局：

行政報告。3月議会でひばりが丘公民館の適正配置に係る陳情が出され、不採択。

3月22日（日曜日）早稲田大学のステップ22にて、下野谷遺跡の国史跡指定の記念式典と講演会が開かれた。

(2) 公民館だより編集室報告

別紙報告書のとおり。

現在、編集講座に参加された市民の方が二人、編集会議に参加されている。

(3) 都公連関係報告

事務局：

前回公運審が2月18日、都公連が2月25日でした。3月は本日午後、都公連としては26年度最終回の運営委員会。お手元に資料を回していますが、委員会として都公連の会長あてに、非加盟市に対する呼びかけ、ないし研修会への参加を3月の18日に提出した。会長市の日野市の館長に受け取っていただき、平成27年度の会長市に引き継ぐ形で進んでいる。

都公連総会は、4月15日午後2時から、日野市市民の森ふれあいホールにて。前回会議の中で参加者を確認させていただき、正副会長と館長、事務局は小笠原と谷戸公民館専門員塩谷が参加予定。

(4) 田無公民館関係の報告

事務局：

・施政方針（資料6）15ページ。「今後耐震に課題のある西東京市市民会館と中央図書館・田無公民館の合築複合化にむけた検討を行ってまいります」

耐震については、予算が可決されれば、公運審の委員の方が何人かと図書館協議会の方、市民会館利用者の方を含めた市民参加による会議で一年間かけて、協議をしていく。25年度、40年を迎える田無公民館・中央図書館、併せて市民会館も50年を迎えるので、耐震調査を行った。その結果を踏まえ、26年度中に耐震修繕を行う予定だったが、一度延期になっている。この経過の中で、田無公民館・中央図書館・市民会館の合築を視野に入れた施政方針が市長から出され、3月3日の読売新聞の武蔵野版で報道され、本議会でも動きがありますが、今日は館長が不在のため、報告に留める。議会後、その報告も兼ねて4月の公運審で報告する。

(5) 事業評価の報告

事務局：

・本日午後3時より事業評価の打ち合わせを行った。上田委員、真鍋委員、武司委員、公民館側は評価PTのメンバーが参加。公民館の一次評価ということで、職員による一次評価のイメージを出した。

(6) 利用者懇談会報告

柳沢公民館…3月1日（日曜日）午前10時～正午

・利用者団体31団体、34名の参加。今回のねらい・次第は資料の通り。今年度はトイレ工事に関する

報告、26年度事業についての報告、27年度の予定・事業についての報告、質疑応答。4グループに分け二人くらいずつ職員がについてのグループ討議・発表を行った。質疑応答では部屋がとれないことや部屋の使い方などについてご意見をいただいた。ご意見が出ない方もいるので、小グループで自己紹介を含め、今自分のサークルが困っていることや施設に関しての疑問を話し合った。

田無公民館…3月7日（土曜日）午前10時～正午

・利用者団体87団体、98人の参加。利用者懇談会の本来の意味を文書にし、少し時間をかけて説明。人数が多いので十分に向き合って話がなかなかできないということがあるので一方的にならないよう事前にこちらから報告をしたいものについては文書にし、会に戻って回覧をしてほしいと伝え、聞き漏らしのないよう配慮した。次第は資料の通りだが、田無の場合は耐震診断後の26年度に改修工事の予定だったのでその経過を説明。あとは他館と同様、管理運営の報告やお願い・提案・情報交換、団体連絡箱の調整。連絡事項は、各館共通のもの他、田無に限って言えば、5月にある田無公民館のまつりのお知らせや40周年記念事業（記録誌の作成も含め）についての説明、太鼓等騒音について解決した問題、印刷機使用料支払い時間の確認。公民館独自のミニコミ誌「コミコミ田無」に今日の結果を書いて、各連絡箱に入れておく件などを伝えた。主な意見としては、災害のこと（具体的には3.11の時に地区会館を閉鎖されたと聞いていたことから、公民館の今後の具体的な対策）を聞かれ、公民館は一時帰宅困難者の滞在施設になっていること、各種備品を適宜用意していること、平時にどのような訓練をするかが有事に試されるのでこれからも公民館として引き続き訓練や住民の皆様の意識を高めていく事業などを展開していきたいという話をした。もう少し他館・他部との連携をしてほしいという意見もいただいた。また、館長が出席していたので、ひばりが丘公民館の分館長減の動きについてもう少し報告してほしいという意見もあった。市民の方から、今後もっと丁寧な説明や、しっかり協力するのでもっと住民を信頼して一緒に公民館を守って行きましょうという意見も出された。

館側の反省・印象としては、やはり防災・減災などの対応のことは関心が高く、私たちもこれから気を引き締めて取り組んでいかなくてはと思っている。その他住民自治、市民力ということで参加者全体で公民館ご利用の原則を確認したいということや、自分たちの地域課題を自分たちで解決していく方向での発言があり、改めて利用者の参加・住民自治の意識の高さが再確認できたかと思っている。

参加者が多いために、グループ内の議論の時間が取れず、団体連絡箱を別の時期にしても良いかと思う。

谷戸公民館…3月14日（土曜日）午前10時～正午

8団体、9名参加。まつりの実行委員会や30周年記念事業の関係や講座と重なったことから人数が少なかったが、内容的には部屋の貸し借りや利用箱の連絡、今まで言われたことの改善ができないかという提案があった。意見としては、団塊世代のリタイア後の男性を引っ張り出せる講座をぜひやってほしいという意見があった。利用者懇談会については、利用者と職員だけでなく、公民館には三つの顔（昼来る団体・夜来る団体・土日に来る団体）があり、来てもらえれば今まで知らなかった団体の顔と名前と活動内容がわかるので、利用者間の懇談会にもしたほうがいいのかという意見があった。

保谷駅前公民館…2月28日（土曜日）午前10時～正午

53団体、61名参加。前半は地域防災に関する講話として危機管理室より1時間程度、地震・災害に関する話をしていただいた。繰り返しお伝えすることで、災害に備える準備を心がけたり、互いに協力し合う共助の心を育むきっかけとなるように、今後も継続していきたいと考えている。後半は、公民館からの報告事項や運営管理について時間をとり、また参加者皆様のご意見やご質問等を伺う時間とした。今回団体連絡箱の抽選も兼ねていたので、前回に比べ多くの方の参加とご意見を聞くことができた。今後の運営管理に少しでも役立てたいと考えている。駅前公民館は、現在、「幼児用だれでもトイレ」を授乳室に改修中。昨年12月から3か月に渡り、授乳室開設に向けてアンケートをとっ

た。反響は大きく、多くの賛同が得られたことを受け、公民館ではじめて常設の授乳室を開設する。現在4月から使えるように準備を進めている。保谷駅前周辺にはステアビル内も含めて、授乳できる場所がなかったので、ぜひ多くの方に利用していただきたい。

芝久保公民館…3月11日（水曜日）午後6時～7時50分

29団体、27人参加。次第は資料の通り。主な意見は「非常にマニアックではあるけれども、他の公民館で開催しない、ブラック企業や引きこもりに関しての講座など、独自の講座を開催している。今後も積極的にやってもらいたい」というようなご意見などを頂戴して、担当者もやる気に燃えているというところ。7時50分以降、夜間の緊急避難訓練を開催した。緊急避難口から外階段を通過して1階のロビーに通じるところまで実際に懐中電灯を照らしながら参加いただいた。

ひばりが丘公民館…3月14日（土曜日）午後2時～4時30分

今回は団体連絡箱の抽選をまず行い、そのあと残れる人は一緒に懇談しましょうという形で後半を懇談会という試みをした。団体連絡箱の方は60人ほどのご参加、懇談会については29人の方が残ってお話することができた。館からのお願いや報告、今年度工事等で整備した部分などについてご説明して、皆様からもご要望等あればということで伺ったが、特に大きなご要望は今回は出なかった。トイレ工事について、皆様関心を持たれていて、年度ごとに1館ずつということで計画しているのでひばりが丘については28年度予定の旨を説明した。

公共施設の適正配置計画について、改めてこの間の経過を説明させていただき、今後お知恵を貸していただきたいとお話した。初めて参加した方もいて、適正配置の経過につきましては、今まで得ている情報についてご理解・受け止め方にばらつきがあるという印象があったので今後丁寧に説明をしご意見を承っていきたい。

委員：

・駅前公民館。内容については分館長が説明したとおり。私が驚いたのは分館長。利用者からの質問に関しての的確な答えがまさにズバツと非常に核心をついていて深いなと思った。参加者を相手にしたときには適正な言葉を出して、中にはやっぱり厳しいことを言う方もいらっしゃるが、ピシヤツと押さえつけるのではなくて、公民館の主張をして相手を納得させる、まさに適任者ではないかなと見直した。

・柳沢公民館。参加者のレベルが高く、やはりある程度のリハーサルがあったほうがスムーズに行くのではないかと思った。

・田無公民館。あっと驚くステージを作っていた。コロシウムスタイルで、前面に議長席があり、それをぐるっと囲む半円形型に囲んでお客さんが全員進行会議に集中できるという、今までにないような配置で、入ってきた人も皆、何が始まるんだろうという形をとったのはポイントが高い。集中力がつき全員が進行のほうを向いて参加できるような新しい試みで良かったと思う。

・芝久保公民館。ここは職員の競争、ライバル意識がすごく高い。これは素晴らしい。ちゃんと準備してプレゼンがうまい。パネルを用意して、写真を貼ったりポスターを貼ったり使った道具を見せたりして、わかりやすく解説しています。いい意味のライバル心を持っていて、興味を持たせるプレゼンの仕方を考え臨機応変にやっているの、これは伸びるなと思った。

・谷戸公民館と保谷駅前に参加しました。谷戸公民館は、全体的に見て6館の中でも参加者が少なかったんじゃないかなという印象があったが、少ないなりに顔の見える関係で話し合いができていた。ただやはり貸館ではなくて、利用者を大事にしたいということをもっと伝える努力が必要である。

・保谷駅前公民館は、分館長が自分が責任者であるという責任感をもって、要求してくる方に的確にお伝えするというをしていると感じた。

・柳沢公民館と芝久保に行きました。公共予約システムについて、今度システムを変える時にはぜひ図書館と同じように24時間使えるな形にさせていただけると良い。

・芝久保公民館は、職員のなかで火花が散るようなピリツとした雰囲気があり、なかなか良かった。

・ひばりが丘のプログラム構成は、前段で団体連絡箱関係で60名ほどいたのが、後半、本来の目的の

利用者懇談会では半数いなくなり、果たしてこれで良かったのか、前半の人数をどうやってキープするのかという辺りが知恵の出どころかという気がした。

駅前公民館に確認したい。授乳室というのは、他の公民館では整備されているか。

事務局：

他の公民館では、授乳室としての施設は整備されていない。保谷駅前には、たまたま使われていない部屋があったため、安いコストでリニューアルすることができた。作りたくてもすぐには作れないのが現状。

○委員：

そうすると、駅前を除く他の館では、特段そういった苦情や要望は出ていないのか。

○事務局：

柳沢に関しては、ほとんどの部屋が満杯状態なので、ご希望があった場合は事務室の奥の和室を授乳室として使っている。

○委員：

田無とひばりに参加させていただいたが、両方とも司会進行がてきぱきとさわやかでとてもよかった。田無の座席の工夫は、半分くらいの方の顔を見ながら参加できてとても良かった。ひばりが丘は今回の適正配置の件で、理解が不十分なところがあり、利用率が悪いからひばりが丘公民館がなくなってしまうのではないかという捉え方をされている方もいて、利用率をあげるにはどうしたらいいかという違う方向に話がいった。時間が4時半までと決まっていた、4時過ぎてからのご発言だったので、それを説明するというような時間帯でもなかったように思う。とても大事な問題であり、ひばりが丘を利用されている方たちはとても不安だと思うが、今後どのように進めていくのか。

○事務局：

まずは公運審の皆様と、再度率直な意見交換をするところから始めたい。

○委員：

ひばりが丘公民館について、団体連絡箱の抽選をほかの公民館のように、後にしたらいいのではと思った。利用者懇談会報告の「反省」にもある通り、利用者懇談会に初参加の方が多かったこともあり、適正配置計画に関して、知っている人と知らない人の差が大きい。やはり、一番人が集まった時に説明しておくことのほうが大事ではないかと思う。帰り道にあるご婦人に「公民館なくならないですよね」と何回も聞かれた。

○事務局：

誤解をいただいているところは適切に情報を流していきたい。

議題3 審議事項

(1) 平成27年度事業方針・事業計画等について

皆様のご意見をいただいた形で、27年度事業方針と重点事業を定め、中央館のまとめる事業、全館共通して行う事業、各館の事業の対象・回数・予定を入れた。今回この計画を承認いただきたい。

○委員：

4ページの「各種会議」の中の「⑥団体情報検討会議」は具体的にどんな会議か。

○事務局：

団体登録関連の書式や手続き、手順などを整理する。5年に一度団体登録の更新をお願いしてい

る。また、閲覧用の団体名簿を作成している。

○委員：

・重点事業の防災「共助につながる防災拠点づくり」とあるが、利用者は公民館は避難所の一種と考えている人が多いということが今回の懇談会でわかったが、備蓄されているものはごくわずかだと思ふ。これを重点項目として入れる以上は、予算措置をする必要がある。

・重点事業に防災が入っていて、非常に積極的に取り組まれている（他の自治体の公民館と比べて）特徴的。西東京市の公民館は、いわゆる指定避難所か。

○事務局：

一時帰宅困難者のための滞在施設であって、避難所ではない。

委員：

・平成23年の3.11の後、文科省は小中学校の指定避難所の決定をした。そこを基盤に重点的に備蓄を行ったが、東京・千葉・埼玉あたりの公民館の備蓄の水準というのは、かなり低い。きちんと整備していくことが必要。

○事務局：

市民が避難する場所として公民館はやはり手身近なところ。重点項目であれば予算要求はしている。全館が行う事業の中に、「災害時に必要な備品の整備・管理、避難訓練の実施」を記載している。

(2) 事業計画書・事業報告書について

○委員：

・田無公民館「本でつながる心と心」、「料理講座[マクロビオティック料理作り]」。後者は評価Aが100パーセントです。前者も（評価Aが）93.7パーセントですけれども、これは（参加者）16人のうちひとりだけ（Aにしなかった人がいて）いて、パーフェクトにならなかったというだけのこと。

・ひばりが丘公民館「女性講座 子育て中にパワーチャージ～私の未来は私がつくる」芝久保公民館「子育て中の女性のための講座 輝く生命と心を育む[未来協奏曲]」。子育て中のお母さん中心の講座で、子どもを保育して講座を行っている。一つの講座で二か所で一緒に成長しているという素晴らしいことだと思ふ。今後も、母と子で公民館を活用してそれが地域に根付いてきているというようなPRができる。

・柳沢公民館の防災訓練。地域の団地の人たちを巻き込んだところが素晴らしい。芝久保公民館は図書館と共同で防災訓練を行っていて、今後も継続してもらいたい。

・柳沢公民館「オールジャンルフェスティバル柳沢（柳フェス） 目覚めよ！若者！」。評価の数字が抜けている。公式に残ることなので、数字の記載は必要だと思ふ。

・26ページ。ひばりが丘公民館「女性講座 わくわく未来をつくる五感のレシピ」。学習者は継続か、入れ替えか。

○事務局：

連続講座なので、原則16回全会参加が前提。

○委員：

そうであるなら素晴らしい講座である。つなげて行ってほしい。

・芝久保公民館「幼い子どもを持つ女性のための講座[私らしい学びの扉をひらいて]」。この講座の受講者は入れ替わりか。

○事務局：

入れ替わりではない。

○委員：

やはり新規に参加できる回も欲しい。

○事務局：

今回は1回しか入っていないが、前回の秋の講座などは2回ほど公開講座をしている。

○委員：

・ひばりが丘公民館「女性講座 子育て中にパワーチャージ～私の未来は私がつくる！」。参加者の評価の最初の方、「昼間は子どもと二人きり」、この人が出ただけでもこの講座は価値があったという気がする。こうした人たちに、どのようにしたら情報を届けられるのか。保健所の子どもの健診には必ず行かなければならない、そういうところに置いてもらうようにしたらどうか。

・芝久保公民館「健康講座[元気になろう！薬だけにたよらない身体づくり]」。ネーミングに惹かれて参加したが、市長の方針にもあるように、健康年齢も伸ばそうというのであれば、このような講座は絶対もっと必要。

・田無公民館。「月 ICHI クッキング」について教えていただきたい。

○事務局：

田無公民館と駅前には調理室があり、もっと多くの人たちに使っていただきたい。ここを一つの拠点として、いろいろな地域問題に挑戦していく。月1回のクッキングで、地域の方が料理を作り、地域の子どもたちを集めて料理を通して語る会を作っていきたい。「貧困を考える講座」から人材を集め、「月 ICHI クッキング」の中に男性を巻き込み、地域に目を向けてもらえるような仕組みづくりをしたい。

○委員：

柳沢公民館のロビーコンサートは土曜日と月曜日。来館者数の違いは、実行委員は参加団体が協力して分担してやってらっしゃる形式かどうか。また、「柳フェス」について、「青少年だけでなく、おやじ世代のバンド」とありますが、「おやじ世代」とは何歳代か。

○事務局

「おやじ世代」は、中学生の親世代（30代から40代くらい）。月曜日の閉館日を狙ったロビーコンサートも土曜日の開催と人数的には変わらず、非常に盛大であった。実行委員会には参加団体には必ず出席いただいている。

委員：

・先ほどの女性講座については、チラシをスーパーに置いておくのと有効なのかと思う。孤立して子育てしているお母さんが、公民館の行事に出るのは、自分が学びたいとかではなく、孤立した子育てが辛いから出るんです、と話されていた。

・くるみ学級のお母さんも、公民館に4時間預ける「その時間が私にとっては至福の時間」と言っていた。それぐらい、せっぱつまっている。障がい者をもつ親にも公民館が非常に重要な役割を果たしている。

・柳沢公民館のコンサートとフェスティバルを一緒にすることはできないのかなと思います。異世代を取り込んでいろんな人たちが何かに参加するイベントを公民館に期待したい。保谷駅前公民館は、ドラムのある部屋があるが、お互い何をしているかわからない。利用者同士交流できないか。

それぞれのロビーコンサートなどが充実してできているので、そこをもう一回ミックスしてつなげていくのも一つかなと思う。

・3月14日に真鍋委員と一緒に国立市のNHK学園で、「若者の育ちを支える地域ネットワーク」のシンポジウムに参加した。引きこもりや困っている人たちをどのように支援していくかが話された。素晴らしいと思ったのは、公民館がイベントを仕掛けて、そこに教育委員会が来ている、しかも適応指導教室の専門的な部署の方が来ている。行政が入っていることが素晴らしいと思うのです。西東京市も多く貧困問題が言

われていますが、教育委員会が関わっていくことが必要だと思う。

○委員：

「ロビーコンサート」。「運営方法の見直しや、公民館利用団体以外の地域で活動している団体にも出演してもらい内容の充実を図る」。これはどういう内容なのか。

○事務局：

例えば5月16日にコロファーマ室内合唱団が出ているが、プロである。普段は実行委員会に出てこないけれど、レベルの高い人たちにもご参加いただいたらどうかと考えている。

○委員：

・社会福祉協議会は、現在地域の活性化をテーマに取り組んでいる。地域の居場所づくりを6カ所、今後5年計画で20カ所くらい作りたいと考えている。人材は相当必要なので、公民館と連携し、公民館で活動している方も社協のイベントに活用したいと考えている。

・芝久保公民館の防災講座について。AEDや心臓マッサージはただやり方を知っているだけでなく、実際にやってみることが大切だと思う。この講座で61名がほぼ全員実体験ができたというのは時間がかかったと思うが、AEDは何台使用したか？

○事務局：

2台。二人一組だったので、ほぼ15サイクルで終わった。

○委員：

消火器の持ち方も体験できて良かったという感想もあり、他の公民館でも体験できると良い。

議題4 事務連絡及び情報交換

事務局：

5月9日（土曜日）10日（日曜日）、文理台公園で開催予定の第1回西東京市の商工まつりについて。柳沢公民館で昨年度と今年度行ったまちづくり講座で、柳沢商店街の方で商工会の企画を担当している方とつながりができ、お誘いをいただいた。詳細は今後詰めていくが、公民館の認知度を高めるため、講座から誕生したサークルでブースを担当し、その中で、公民館が地域で行なっていることや講座から生まれた成果物などのPRをしていくという動きがあることをお知らせしておきたい。

委員：

3月16日、社会教育委員の研修会に参加し、教育委員と話した。公運審と教育委員との交流や、ともに高めあう時間が持てるといいと思う。

○事務局：

（芝久保・石川分館長より退職挨拶）

平成27年度第1回定例会 4月22日（水曜日）午後6時30分～

於：田無公民館 第2学習室

以上

